

高温少雨に伴う農作物等の被害軽減対策について

令和元年5月24日
広島県農林水産局農業技術課

気象庁発表の「全般1ヶ月予報（令和元年5月9日）」によると、中国地方では、気温がかなり高くなる可能性があり、降水量も平年並か少ない見込みとなっています。

また、高温に係る異常天候早期警戒情報（令和元年5月20日）が、発表されており、農作物の生育等への影響が懸念されます。

高温に関する異常天候早期警戒情報（中国地方）
令和元年5月20日14時30分 広島地方气象台発表

中国地方 5月25日頃から かなりの高温
かなりの高温の基準：7日間平均気温平年差 +1.7℃以上

今回の検討対象期間（5月25日から6月3日まで）において、中国地方では、5月25日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれます。

農作物の管理等に注意してください。また、今後の気象情報に注意してください。

なお、中国地方では、19日までの7日間平均気温平年差は+3.0℃で「かなり高い」となりました。今後も1週目から2週目にかけて気温の高い日が多く、7日間平均気温はかなり高くなる見込みです。

※1か月予報では、「向こう1か月の平均気温は、高い確率60%」と発表されています

(<https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/pdf/pdf1/765.pdf>)。

最新の気象情報に注意しながら、次の対応策を参考に、被害を最小限に食い止めるよう対策に努めてください。

【共通事項】

- (1) 高温が続くことにより、農作物の生育ステージの急激な前進が想定される場合は、農作業計画の適切な見直しや農業資材等の確保に留意してください。
- (2) 暑熱環境下で作業を行う場合は、熱中症対策として、高温下での長時間作業を避け、こまめな水分と塩分の補給や休憩を取るよう心掛けてください。
- (3) 晴天、高温条件では、チョウ目害虫、アブラムシ類、ハダニ類が発生しやすくなる。園内の発生状況や、予察情報を参考に、防除を徹底します。

作物名	被害拡大防止のための対策
水 稲	<p>【水稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苗の徒長や苗ヤケが発生しやすくなるため、ハウスの換気等の温度管理を徹底する。 ・ 雑草の葉齢進展が早まることが予想されるため、除草剤の処理時期を逸しないよう留意する。 ・ 水田畦畔や水尻を点検し、畦シート等により漏水を防ぐなど、用水の有効活用に努める。 <p>【麦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生育が早期化することが予想されるため、適宜、子実水分（25%が収穫適期）を測定し、適期収穫に努める。
ハウス栽培全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異常高温時は、障害回避のため側面と妻面をできる限り開放して風通しを良くする。ハウス内及び周囲に遮へい物がある場合は、整理して通風に努める。
野菜花き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 露地栽培では、土の乾き具合を確認しながら必要に応じて灌水を実施する。特に、定植後間もない場合は、適湿を保つようにする。 ・ 乾燥によるチップバーンを防止するため、薬剤防除時にカルシウム剤を混用する。 ・ カルシウム欠乏、鉄欠乏、ホウ素欠乏等の生理障害対策として、必要に応じて葉面散布を行う。
果 樹	<p>乾燥状態が続く場合は、実どまり促進・果実の肥大抑制防止のため、早めのかん水に努める。</p> <p>株元に敷きわらを施すなど、土壌乾燥を防ぐ。特に、根域の浅い幼木は、乾燥に弱いので、早めに対応する。</p> <p>雑草との水分競合を避けるため、こまめに除草する。</p>
畜 産	<p>畜舎内の気温・温湿度管理，換気管理に細心の注意を払う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 直射日光の遮断(寒冷紗)等を行う。 (2) 換気扇，送風機により家畜への送風や畜舎の換気に努める。 (3) 新鮮な飲水を十分給与する。 (4) 飼槽や給水器の清掃を行う。

問合せ先

西部農業技術指導所 東広島市八本松町原 6869 電話 082-420-9661
 東部農業技術指導所 福山市三吉町1丁目1-1 電話 084-921-1311(代)
 北部農業技術指導所 三次市十日市東4丁目6-1 電話 0824-63-5181(代)
 県庁農業技術課 広島市中区基町10-52 電話 082-513-3559